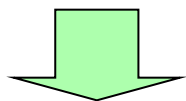


熊本市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年5月～24年3月)

【中心市街地を巡る状況】

○郊外型大型店の出店が相次ぎ、中心市街地を除く熊本市と近隣市町村に立地する大型店の店舗面積はH8の19万m²からH18の39万m²と、2倍に増加



○中心市街地の小売商業年間販売額はH9からH14にかけて15%減少

○歩行者通行量はH9からH18にかけて、28%減少

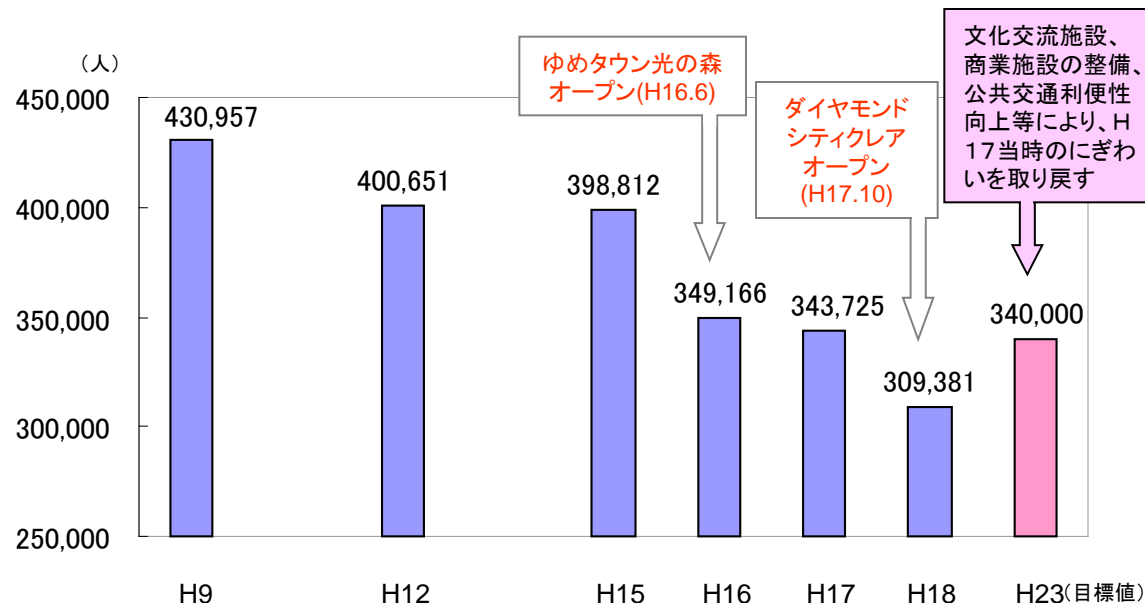
○市電利用者数もH9からH16にかけて、14%減少

【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H23年)
人々が活発に交流し賑わうまち	歩行者通行量	309,381人(H18)	340,000人
城下町の魅力があるまち	熊本城入園者数	825,807人(H17)	1,000,000人
誰もが気軽に訪れることができるまち	市電利用者数	9,160,000人(H17)	9,280,000人

(歩行者通行量の動向と数値目標)

* 平日・日曜の平均値。毎年8月の金曜日、日曜日に定点調査



文化発信・集客・小売機能を併せ持つ施設の重点整備、公共交通の利便性向上により熊本駅や熊本城からの回遊を促し、通町・桜町周辺を中心とした街のにぎわい回復を図る。

熊本市中心市街地活性化基本計画の事業概要

賑わい拠点創出



○研修会等の多目的ホール(500席)や観光情報の発信を備えた図書館等の整備により、人、もの、情報の交流拠点の形成。

○日本最大規模のバスターミナルの再整備、飲食店が連なる地下街の再構築を図る。



○既存の文化会館やビル、駐車場を建て直し、劇場ホールや商業・業務施設等を含む複合機能の整備。



熊本城の魅力づくり

○熊本城築城400年の記念イベントや**本丸御殿の復元整備**により、来場者数の増加や滞留時間の延長を図る。



地域ぐるみ

○歴史的建築物の保存等に取り組む「熊本まちなみトラスト」をはじめとした**市民団体が主体となって、地域(歴史)資源の復元整備**などを行う。

(「熊本まちなみトラスト」の活動例)

空き店舗がほとんどだった河原町に若手企業家を誘致し、現在では**20店舗以上の集積(全国都市再生モデル調査)**



公共交通の利便性向上

○2両編成の**低床式路面電車の導入率を増加**、また**路面電車優先信号の整備**により、輸送力の増強、所要時間の短縮を図る。



○熊本駅舎への**市電乗り入れ**による乗り換えの**便利な駅の実現**。

